

2022年度事業報告書

自 2022年 4 月 1 日
至 2023年 3 月 31日

一般社団法人 日本造船協力事業者団体連合会

目 次

第1. 会 員	1
1. 普通会員	1
(1) 普通会員数の異動	1
(2) 普通会員理事長・会長の交代	1
(3) 普通会員の名称変更	1
2. 賛助会員	1
第2. 役 員	1
1. 役員の異動	1
第3. 会 議	3
1. 内部会議	3
(1) 総 会	3
(2) 理事会	4
(3) 正副会長会議	4
(4) 専門委員会及び部会	4
2. 協力機関	4
(1) 協力機関の名称と所管区域等	5
(2) 支部長(協力機関代表者)会議	5
(3) 支部(協力機関)会議	5
3. 外部会議	5
(1) 海事振興連盟	5
(2) 地域研修センター意見情報交換会	5
(3) 全国造船安全衛生対策推進本部(全船安)	5
(4) 外国人造船就労者受入事業適正監理推進協議会	6
(5) 巡回等業務管理委員会	6
(6) 造船・船用工業分野特定技能協議会	6
(7) 船舶における適正なアスベストの取り扱いに関するマニュアル改訂委員会	6
(8) 呼吸用保護具選択・使用・保守管理基準等検討委員会	6
(9) 日本スポーツ健康科学学会	7
(10) 第9回ものづくり日本大賞被表彰者選考会	7
第4. 組 織	7
第5. 事 業	7
1. 安全の確保(労働災害防止事業)	7
(1) 造船協力事業者の労災防止事業	7
1) 安全講習会	7
2) 安全衛生指導	7
3) 熱中症対策	8
4) 安全成績優良会員表彰	8
5) 全船安・分担金拠出	8
(2) 造船協力事業者従業員の教育及び訓練【実施事業】	8
1) 日本財団助成事業	8

① 安全管理者に対する危険排除のノウハウ等の伝承	8
② 労働災害バーチャルリアリティー体験教育	11
2) その他の実施事業(自主事業)	12
3) 安全衛生資料等の作成・提案(自主事業)	13
(3) 技術安全委員会	13
2. 安心の確保	14
(1) 労災補償共済事業	14
1) 労災補償共済制度の内容	14
2) 加入事業所数及び登録者数	14
3) 共済金の給付	14
4) 共済業務委託費	15
5) 共済掛金の還付	15
6) 労災補償共済制度及び日造協団体災害補償制度への加入促進説明会	15
(2) 日造協団体災害補償制度(AIG上乘せ保険)	15
(3) 共済制度運営委員会	15
3. 経営基盤の強化	16
(1) 雇用労務に関する調査指導	16
1) 造船協力事業者の人材確保	16
(2) 政策研究委員会	17
(3) 広報	17
1) 一般広報	17
2) 機関紙発行	17
(4) 表彰推薦業務	19
1) 国土交通大臣表彰	19
2) 運輸局長表彰	19
3) 海事事務所長表彰	20
(5) 調査研究・指導等	20
1) 税制の利用調査・報告	20
2) 雇用調整助成金の活用状況についての調査	20
3) 日本財団造船関係資金貸付事業借入手続き指導	20
(6) 日造協実態調査	20
(7) 外国人材の活用	20
(8) 人材流動化	21
(9) 会員交流会等	21
(10) 業界の情報の提供	21
(11) 人材確保事業関係	21
4. 技術・品質の向上	21
(1) 部会活動	21
1) 日造協塗装部会	21
2) 日造協企画部会	21
(2) 購入あっせん事業	22
(3) 地域研修センターによる技能者育成支援事業	23
(4) 指定技能講習	23
(5) 先進国型シップリサイクル	23
5. 安全統計等	23
(1) 死亡災害分類と災害件数の推移(暦年別)	24
(2) 災害度数率・強度率の推移(暦年別)	25

(3) 2022年(令和4年)会員別安全成績	26
(4) 2022年(令和4年)安全成績優良会員表彰	27

附属明細書

日造協役員名簿	28
日造協会員名簿	29
賛助会員名簿	31
政策研究委員会委員名簿	32
技術安全委員会委員名簿	32
共済制度運営委員会委員名簿	33
日造協塗装部会会員名簿	33
日造協企画部会会員名簿	34
日造協機構	35
事務局組織図	36

第1. 会 員

1. 普通会員

当連合会の2022年4月1日以降における普通会員の異動は以下のとおり。

(1) 普通会員数の異動

2023年3月31日付でトヨシップ事業協同組合が退会した。

年度初会員数	年度中の異動		現在会員数
	入 会	退 会	
45	0	1	44

(2) 普通会員理事長・会長の交代（敬称略）

会 員 名	就 任	退 任	異動日
福岡造船株式会社長崎協力会	木下 康彦	中島 豊喜	2022. 4. 1
本田重工業協力会	甲斐 教郎	高野 竜一	2022. 4. 1
長崎県金属工業協同組合	光武 直哉	原田 功	2022. 5. 25
サノヤス水島事業協同組合	西山 智	山下 晶	2022. 5. 27
旭洋造船株式会社協力会	石森 将史	吉村 清政	2022. 6. 1
因島鉄工業団地協同組合	柏原 秀幸	廣田 一敏	2022. 6. 23
協同組合新笠戸ドック協力会	安田 勇志	中西 毅	2023. 2. 28

(3) 普通会員の名称変更

新	旧	変更日
由良ドック協力会	MES由良協力会	2023. 1. 1

2. 賛助会員

当連合会は昭和47年7月から定款に賛助会員の条項を設け、普通会員が所属する元請造船会社及び関連団体等を賛助会員とし、今日まで多くの支援をいただいている。本年度も引き続き賛助会員への勧誘を行い、2022年10月1日付で一般社団法人東北小型船舶工業会、一般社団法人関東小型船舶工業会、同年11月18日付で株式会社みらい造船が入会し、2023年3月現在は25社・8団体、計33会員となった。

第2. 役 員

1. 役員の変動

(1) 本年度は任期満了による役員改選が、第10回定時総会において行われた。

同総会で選任された理事4名、監事4名は以下のとおり。（敬称略）

理事・監事	氏 名	会員名及び役職
理 事	高橋 修一	協同組合函館どつく室蘭協力会 理事長
〃	安井 三郎	函館どつく安全衛生協力会 会長
〃	古川 誠	ジャパンマリユニテッド横浜協力会 会長
〃	森野 宏和	三菱横製構内事業協力会 会長
〃	河西 良二	住友重機械造船協同組合 理事長
〃	佐々木 貴美雄	ヤマニシ協力会 会長
〃	岸本 武司	新日本海重工業協力事業協同組合 副理事長
〃	川北 謙二	トヨシップ事業協同組合 監事

〃	小久保 和文	ジャパンマリユナイテッド(株)津事業所協力会 会長	
〃	小山 武夫	日立造船大阪協力会 会長	
〃	岡田 正昭	川重事業協同組合 理事長	
〃	里村 和敏	MES由良協力会(現・由良ドック協力会) 会長	
〃	江見 重人	協同組合アイ・エイチ・アイ相生協力会 理事長	
〃	四ツ井 泰彦	川重協力工場協同組合 理事長	
〃	鈴木 康裕	三井E&S玉野協力会 会長	
〃	西山 智	サノヤス水島事業協同組合 理事長	(新任)
〃	引地 一生	ヒッツ・ジャパンマリユナイテッド因島事業協同組合 理事長	
〃	宗政 裕司	内海造船事業協同組合 理事長	
〃	板谷 勝次	協同組合JMU呉協力会 理事長	
〃	平賀 哲朗	協同組合三菱広島協力会 理事長	
〃	中西 毅	協同組合新笠戸ドック協力会 理事長	
〃	廣田 一敏	因島鉄工業団地協同組合 理事長	
〃	宮地 秀志	協同組合瀬戸内鉄工センター 理事長	
〃	吉村 清政	旭洋造船株式会社協力会 会長	
〃	神原 満	川重坂出事業協同組合 理事長	
〃	木村 嘉宏	大西造船関連工業協同組合 理事長	
〃	椿原 智幸	福岡造船福岡協力会 会長	
〃	萩原 義憲	名村造船伊万里協力会 会長	
〃	中野 達也	SSK協力事業協同組合 理事長	
〃	山外 正人	大造協力事業協同組合 理事長	
〃	田崎 正志	協同組合三菱長船協力会 理事長	
〃	木下 康彦	福岡造船株式会社社長崎協力会 会長	(新任)
〃	上村 司	ジャパンマリユナイテッド有明協力会 会長	
〃	増尾 初則	南日本造船協力事業協同組合 理事長	
〃	麻生 貴紀	下ノ江造船協力事業協同組合 理事長	
〃	下松 一也	臼杵造船事業協同組合 理事長	
〃	高島 裕一	佐伯プラント船舶事業協同組合 理事長	
〃	梶川 茂夫	三浦造船協力事業協同組合 理事長	
〃	光武 直哉	長崎県金属工業協同組合 理事長	(新任)
〃	黒佐 剛	協同組合寿協力会 理事長	
〃	甲斐 教郎	本田重工業協力会 会長	(新任)
〃	是永 明	造船構外企業協議会 相談役	
〃	野口 雅史	日造協事務局	
〃	重入 義治	日造協事務局	
監 事	須田 新崇	船舶解撤企業協議会 会長	
〃	大槻 宏実	(公財)全国中小企業振興機関協会 専務理事	
〃	鈴木 善也	公認会計士	
〃	新川 征彦	税理士	

- (2) 第38回理事会において、定款及び理事会運営規則の定めに基づき、代表理事等の選定を行った。選定された代表理事及び業務執行理事は以下のとおり。(敬称略)

役 職	氏 名	会員名及び役職
会 長	河西 良二	住友重機械造船協同組合 理事長
副 会 長	山外 正人	大造協力事業協同組合 理事長
〃	是永 明	造船構外企業協議会 相談役
〃	小久保 和文	ジャパンマリンユナイテッド(株)津事業所協力会 会長
〃	平賀 哲朗	協同組合三菱広島協力会 理事長
専務理事	野口 雅史	日造協事務局
常務理事	重入 義治	日造協事務局

- (3) その他、本年度中における役員の変動は以下のとおり。(敬称略)

	就 任	退 任	会 員 名	異 動 日
理 事	柏原 秀幸	廣田 一敏	因島鉄工業団地協同組合	2022. 9. 22
〃	石森 将史	吉村 清政	旭洋造船株式会社協力会	2022. 9. 22
〃	—	中西 毅	協同組合新笠戸ドック協力会	2023. 2. 22
〃	—	川北 謙二	トヨシップ事業協同組合	2023. 3. 31

第3. 会 議

1. 内部会議

本年度も総会、理事会、正副会長会議、各専門委員会、部会等を開催し、それぞれの所管事項の処理にあたっている。なお、コロナ禍であるため、状況によってはWEB会議システムを併用して開催した。

(1) 総 会

1) 定時総会

本年度は、第10回定時総会を2022年6月2日(木)、東京ドームホテルにおいてWEB会議システムを併用して開催し、定款で定める事項を報告、決議した。

報告事項

- 報告第1号 2021年度事業報告について
- 報告第2号 2021年度公益目的支出計画実施報告について
- 報告第3号 2022年度事業計画及び収支予算について

決議事項

- 議案第1号 2021年度決算承認の件
- 議案第2号 任期満了による役員(理事・監事)選任の件

また、定時総会終了後、貸借対照表を当連合会ホームページに公告し、報告第1号、第2号、議案第1号について6月17日に内閣府へ報告し、11月10日に審査完了となった。

2) 臨時総会

本年度は、臨時総会を第39回理事会に併せて開催した。

- ・第1回臨時総会 2022年9月22日(木) 名鉄グランドホテル(WEB併用)
- 議案第1号 指定代表者の変更に伴う役員(理事)選任の件

(2) 理事会

本年度の理事会は5回開催し、定款及び理事会運営規則で定める事項を報告、決議した。

- ・第37回理事会 2022年5月11日(水) (理事会の決議の省略・書面)
議案第1号 2021年度事業報告及び決算承認の件

- ・第38回理事会 2022年6月2日(木) 東京ドームホテル(WEB併用)
議案第1号 任期満了による代表理事・業務執行理事及び相談役・顧問選定の件

- ・第39回理事会 2022年9月22日(木) 名鉄グランドホテル(WEB併用)
報告事項
報告第1号 「海の日」表彰受賞者ご紹介
報告第2号 2022年度事業進捗状況報告について
決議事項
議案第1号 2022年度事業計画変更の件
議案第2号 2023年度事業計画(案)及び収支予算(案)の件
議案第3号 2023年度日本財団助成金交付申請の件
議案第4号 賛助会員入会承認の件
議案第5号 2022年度第1回臨時総会開催の件

- ・第40回理事会 2022年11月18日(金) (理事会の決議の省略・書面)
議案第1号 賛助会員入会承認の件

- ・第41回理事会 2023年3月16日(木) 芝パークホテル (WEB併用)
報告事項
報告第1号 2022年度事業完了報告(見込)及び収支決算(見込)について
報告第2号 2022年度公益目的支出計画実施報告(見込)について
決議事項
議案第1号 2023年度事業計画及び収支予算承認の件
議案第2号 第42回理事会開催の件(決算理事会の決議の省略)
議案第3号 第11回定時総会及び第43回理事会開催の件
議案第4号 普通会员入会承認の件

(3) 正副会長会議

- ・2022年度 第1回正副会長会議 2022年7月21日(木) 京王プラザホテル札幌
- ・2022年度 第2回正副会長会議 2023年2月8日(水) シーガ アイコソバシヨソセンター(宮崎)

(4) 専門委員会及び部会

当連合会の事業を円滑に推進するため、次の専門委員会及び部会を設置し活動した。

(各委員会及び各部会の活動内容は別途記載)

共済制度運営委員会、技術安全委員会、政策研究委員会、日造協塗装部会、日造協企画部会

2. 協力機関

6支部は外部の協力機関として定款で定められており、本年度も各支部と連携して事業を遂行した。

(1) 協力機関の名称と所管区域等（敬称略）

名称	所在地	所管区域	支部長
日造協東日本支部	神奈川県横浜市	北海道、東北、関東の地域	古川 誠
日造協中部支部	三重県津市	中部運輸局管内 (一部北陸信越運輸局富山運輸支局管内を含む)	小久保和文
日造協近畿支部	兵庫県神戸市	近畿運輸局、神戸運輸監理部管内	岡田 正昭
日造協中国支部	広島県広島市	中国地方 (広島県、山口県、島根県、岡山県、鳥取県)	平賀 哲朗
日造協四国支部	香川県坂出市	四国運輸局管内	神原 満
日造協九州支部	長崎県長崎市	九州地方	山外 正人

(2) 支部長(協力機関代表者)会議

2022年11月16日(水) 新横浜グレイスホテル

(3) 支部(協力機関)会議

- ・日造協東日本支部
支部会議 2022年10月17日(月) 横浜ロイヤルパークホテル
- ・日造協中部支部
定期総会 2022年7月12日(火) 書面
- ・日造協近畿支部
連絡協議会 2022年10月28日(金) ホテルオークラ神戸
- ・日造協中国支部
通常総会 2022年7月8日(金) メルパルク広島
情報交換会 2023年2月17日(金) 岡山プラザホテル
- ・日造協四国支部
支部会 2022年10月27日(木) 今治国際ホテル
- ・日造協九州支部
総会 2022年10月27日(木) ホテルオークラJRハウステンボス(佐世保)

3. 外部会議

(1) 海事振興連盟

- ・通常総会 2022年11月10日(木) 海運ビル
※当連合会からの出席者
野口 雅史 専務理事

(2) 地域研修センター意見情報交換会

2022年12月27日(火) (一社)日本中小型造船工業会 会議室(WEB併用)
※当連合会からの出席者
金子 昌久 氏 相生技能研修センター 事務局長
(協同組合アイ・エイチ・アイ相生協力会 事務局長)
重入 義治 常務理事

(3) 全国造船安全衛生対策推進本部(全船安)

- ※副本部長に野口専務理事、本部監査員に小島統括本部長が就任している。
- ・2022年度第1回総支部連絡会 2022年5月23日(月) 日本造船工業会

- ・2022年度第1回本部幹事会 2022年5月23日(月) 日本造船工業会
- ・2022年度通常総会 2022年5月30日(月) 日本造船工業会
- ・2022年度第2回本部幹事会 2023年2月6日(月) 日本造船工業会
- ・2022年度臨時総会 2023年3月1日(水) ホテルグランヴィア岡山
- ・2022年度第2回総支部連絡会 2023年3月1日(水) ホテルグランヴィア岡山

2022年度死亡災害発生状況(全船安調べ)

発生日	造船所(県名)	原因分類	従/協の別	年齢	勤続
2022. 6. 24(金)	白浜造船(愛媛)	飛来・落下	従業員	80	20年
2022. 8. 22(月)	あいえず造船(愛媛)	墜落・転落	協力員	50	1年4ヶ月
2023. 2. 22(水)	三菱重工業(長崎)	不明	協力員	54	10年

(4) 外国人造船就労者受入事業適正監理推進協議会(設置 国土交通省)

※当連合会からの委員は以下のとおり。

重入 義治 常務理事

(特定監理団体として)

トヨシップ事業協同組合、SSK協力事業協同組合、南日本造船協力事業協同組合、協同組合広島マリンワールド(JMU呉協力会関係)、三浦造船協力事業協同組合、協同組合寿協力会、臼杵造船事業協同組合が認定されている。

(5) 巡回等業務管理委員会(一財)日本海事協会(国土交通省請負事業)

第1回委員会 2022年5月30日(月) 持回り開催

第2回委員会 2023年3月10日(金) (一財)日本海事協会 会議室

※当連合会からの委員は以下のとおり。

重入 義治 常務理事

(6) 造船・舶用工業分野特定技能協議会(設置 国土交通省)

※当連合会からの委員は以下のとおり。

重入 義治 常務理事

(7) 船舶における適正なアスベストの取り扱いに関するマニュアル改訂委員会

((一財)日本船舶技術研究協会(国土交通省請負事業))

※当連合会からの委員は以下のとおり。

坂元 隆文 氏 船舶解撤企業協議会 理事(株)TES代表取締役)

野口 雅史 専務理事(オブザーバー)

(8) 呼吸用保護具選択・使用・保守管理基準等検討委員会

((公社)日本保安用品協会(厚生労働省協力要請事業))

第3回委員会 2022年4月7日(木) (公社)日本保安用品協会 会議室(WEB併用)

第4回委員会 2022年5月30日(月) (公社)日本保安用品協会 会議室(WEB併用)

第5回委員会 2022年7月25日(月) (公社)日本保安用品協会 会議室(WEB併用)

第6回委員会 2022年9月21日(水) (公社)日本保安用品協会 会議室(WEB併用)

第7回委員会 2022年11月17日(木) (公社)日本保安用品協会 会議室(WEB併用)

第8回委員会 2022年11月28日(月)～30日(水) 書面審議

※当連合会からの委員は以下のとおり。

小島 信樹 統括本部長

(9) 日本スポーツ健康科学学会

当学会の研究で得られた熱中症の知見を造船現場で活用するため、スポーツ科学の専門家と連携している。

※小島統括本部長が学会理事として選出され参画している。

- ・2022年度理事会 2022年10月15日(土) WEB会議
- ・第10回学会大会 2022年10月22日(土) 実践女子大学 香雪記念館

(10) 第9回ものづくり日本大賞被表彰者選考会 (設置 国土交通省 海事局)

2022年11月22日(火) 書面開催

※当連合会からの委員は以下のとおり。

野口 雅史 専務理事

第4. 組 織

事務局組織は引き続き、総務部(総務課、経理課)、業務部、事業部の3部で業務を遂行した。

第5. 事 業

本年度も日造協運営方針に基づき、新規会員の入会推進を行うとともに、「安全の確保」、「安心の確保」、「経営基盤の強化」及び「技術・品質の向上」の4つの柱を中心に事業を進めた。

1. 安全の確保 (労働災害防止事業)

(1) 造船協力事業者の労災防止事業

会員のニーズに合わせて以下の講習会等を開催した。

1) 安全講習会

会員の所属事業場における安全対策として安全管理の向上、作業者の安全意識の高揚・普及及び安全に関する知識の向上を図るため、安全衛生責任者、現場責任者を対象に講習会を開催した。

開催場所	実施日	受講者
神戸 (川重事業協同組合)	2023. 1. 13(金)	25名
計 1ヶ所		25名

2) 安全衛生指導

協力工を対象に、それぞれの作業現場で取り扱う材料、工具、有害物質等の知識、取扱方法等を中心に安全衛生の実践的知識の習得・向上を図るべく、講師を元請等に依頼して各現地に実践的指導を行った。

開催場所	実施日	受講者
神戸 (川重事業協同組合)	2022. 6. 6(月)	34名
長崎 (協同組合三菱長船協力会)	2022. 6. 24(金)	62名
神戸 (川重事業協同組合)	2022. 7. 6(水)	31名
神戸 (川重事業協同組合)	2022. 10. 14(金)	11名
長崎 (協同組合三菱長船協力会)	2022. 11. 18(金)	57名
神戸 (川重事業協同組合)	2023. 3. 14(火)	20名
計 6ヶ所		215名

3) 熱中症対策

①熱中症対策用品配布

夏季の注意喚起と熱中症対策として、「熱中症予防タブレット」と経口補水液(予防用)を配布した。

- ・熱中症予防タブレット 140,184個(594袋)
- ・経口補水液(アクアソリタ) ※予防用 1,776本(74箱)

②熱中症注意喚起ポスター配布

熱中症注意喚起として、専門家監修のもとポスターを1,000部制作し、6月に普通会员、賛助会員向けに広く配布した。

③熱中症対策講習

熱中症予防管理者教育を東京農業大学大学院 齊藤雄司 博士に依頼し「熱中症予防講習(管理者編)」を実施した。

開催場所	実施日	受講者
㈱新来島豊橋造船(豊橋)	2022.5.11(水)	26名
ジャパンマリンユナイテッド有明協力会(有明)	2022.5.24(火)	24名
計 2ヶ所		50名

4) 安全成績優良会員表彰

当連合会は昭和46年の設立時から毎年、会員の安全意識の高揚・啓蒙を図るため安全表彰を実施している。第10回定時総会等の議事終了後、「2021年安全成績優良会員表彰」として一般表彰37会員、特別表彰17会員を表彰した。

5) 全船安・分担金拠出

全船安の活動に必要な経費は、日本造船工業会、日本中小型造船工業会、当連合会の3団体の分担金で賄っており、本年度も応分額を拠出した。

(2) 造船協力事業者従業員の教育及び訓練【実施事業】

普通会员、会員以外に対し、時勢に合った集合教育の実施や安全衛生資料の作成、提案を行った。

1) 日本財団助成事業

公益財団法人日本財団からの助成を受け、普通会员のみならず造船関連事業者等を対象に広く事業を展開した。

- ① 安全管理者に対する危険排除のノウハウ等の伝承(通称:安全衛生アドバイザー相談会)
(*本事業は平成26年4月1日より、国土交通省の後援事業となっている。)

○アドバイザー相談会

実施企業の組織形態等に合わせ、当連合会の安全衛生アドバイザーがオリジナルの安全衛生教育として現場の作業環境や状況などを詳しく調査した上で、現場安全管理者に対して安全な職場環境を実現するためのアドバイスや危険排除のノウハウ等の伝承を行っている。

なお、昨年度から新たな取り組みとして行っている企業の安全衛生レベルを上げるためにコンサルティング的に特定の企業に継続して実施する方法を本年度も行った。

開催場所	実施日	担当アドバイザー
神奈川県横浜市 (株横浜工作所)	2022. 5. 17(火)	橋本 顕 氏
神奈川県横須賀市 (住友重機械マリンエンジニアリング(株))	2022. 6. 15(水)	林田 一英 氏
愛媛県越智郡上島町 (イワキテック(株))	2022. 7. 15(金)	橋本 顕 氏
神奈川県横浜市 (京浜ドック(株) 子安工場)	2022. 8. 23(火)	花園 春雄 氏
大分県臼杵市 (株臼杵造船所)	2022. 9. 28(水)	林田 一英 氏
神奈川県横浜市 (株横浜工作所)	2022. 10. 7(金)	橋本 顕 氏
北海道函館市 (函東工業(株))	2022. 11. 30(水)	荒井 智明 氏
神奈川県横浜市 (株横浜工作所)	2022. 12. 2(金)	橋本 顕 氏
愛知県豊橋市 (株新来島豊橋造船)	2022. 12. 8(木)	橋本 顕 氏
長崎県諫早市 (長崎県金属工業(協))	2022. 12. 12(月)	林田 一英 氏
宮城県塩竈市 (東北ドック鉄工(株))	2022. 12. 22(木)	橋本 顕 氏
長崎県長崎市 (株九州スチールセンター)	2023. 1. 18(水)	林田 一英 氏
神奈川県横浜市 (京浜ドック(株) 追浜工場)	2023. 3. 9(木)	林田 一英 氏
神奈川県横浜市 (京浜ドック(株) 子安工場)	2023. 3. 10(金)	林田 一英 氏
計 14ヶ所		

○徒弟制度

将来の安全衛生のプロを育成するプログラムを構築し、全国の安全担当者を対象として受講者を募り研修を行っており、講師を担当する各アドバイザーは、それぞれの豊富な経験を生かして現場の危険を排除するためのノウハウ等を受講者に伝承した。

受講者は、本年度、新たに3名を加え合計39名(普通会員13名、賛助会員26名)となっている。なお、現在までに認定アドバイザー8名を輩出している。また、準アドバイザー認定試験を行い、5名が合格し準アドバイザーは7名となった。

・参加企業【受講生数】

区分	会員所属企業	賛助会員	参加数
1期生(21年度)	大和鉄工(2)、 山陽鉄工		3名
2期生(22年度)		三菱重工(長崎)、JMU(横浜)	2名
3期生(23年度)	寿工業(2)	JMU(横浜)、SSK	4名
4期生(24年度)		佐伯重工業	1名
5期生(25年度)	是永鉄工所(2)	新来島豊橋造船	3名
6期生(26年度)		みらい造船、JMU(横浜)、 南日本造船、東北ドック鉄工 三菱重工(横浜)、 住友重機械マリンエンジニアリング	6名
7期生(27年度)	函東工業	川崎重工業(神戸)、JMU	3名

8期生(28年度)		福岡造船(長崎)、JMU(横浜)、旭洋造船	3名
9期生(29年度)		新来島豊橋造船、名村造船所	2名
10期生(30年度)	呉新工業		1名
11期生(2019年度)	ナカタ・マックコーポレーション(2)	住友重機械マリンエンジニアリング 函館どつく(函館)、佐世保重工業	5名
12期生(2020年度)		JMU(津)	1名
13期生(2021年度)	横浜工作所(2)		2名
14期生(2022年度)		京浜ドック、函館どつく(室蘭)、由良ドック	3名
計	13名	26名	39名

・座学研修eラーニング

配信場所：ナビオス横浜

内容：遠隔地にいる徒弟制度受講者に対する座学研修講義映像の配信

内容	講師	実施日	受講者
概論1	花園 春雄 氏	2022. 8. 24(水)	3名
概論2	橋本 顕 氏	2022. 8. 24(水)	3名
計 2回			6名

・徒弟制度 疑似演習

2023年2月15日(水) 実施場所：住友重機械マリンエンジニアリング(株) 横須賀造船所

2023年2月16日(木) 実施場所：京浜ドック(株) 追浜工場

内 容：準アドバイザー認定試験受験資格見極め

対 象 者：伊藤 幸夫 氏 (東北ドック鉄工(株))

小野寺 康広 氏 (株みらい造船)

澤山 博輝 氏 (ジャパンマリンユナイテッド(株))

植松 兼万 氏 (川崎重工業(株))

平田 識貴 氏 (株名村造船所)

・準アドバイザー認定試験

2023年2月16日(木) 実施場所：京浜ドック(株) 追浜工場

受 験 者：伊藤 幸夫 氏 (東北ドック鉄工(株))

小野寺 康広 氏 (株みらい造船)

澤山 博輝 氏 (ジャパンマリンユナイテッド(株))

植松 兼万 氏 (川崎重工業(株))

平田 識貴 氏 (株名村造船所)

○会議等

・アドバイザーミーティング

2022年12月19日(月) 実施場所：ANAクラウンプラザホテル岡山

内 容：2022年度事業進捗状況報告、2022年度事業計画等

2023年3月2日(木) 実施場所：ホテルモントレ仙台

内 容：2022年度事業完了報告(見込)、徒弟制度年度評価等

- ・徒弟制度受講者相互勉強会
2022年12月19日(月) 実施場所：ANAクラウンプラザホテル岡山
内 容：徒弟制度受講者向け講習等
- 2023年3月2日(木) 実施場所：ホテルモントレ仙台
内 容：徒弟制度受講者向け講習等

② 労働災害バーチャルリアリティー体験教育

開催場所	実施日	受講者
イワキテック㈱	2022. 6. 8(水)	35名
函館どつく安全衛生協力会	2022. 6. 22(水)	36名
東北ドック鉄工事業協同組合	2022. 7. 6(水)	24名
川重事業協同組合	2022. 7. 8(金)	66名
因島鉄工業団地協同組合	2022. 7. 14(木)	18名
臼杵造船事業協同組合	2022. 7. 20(水)	41名
協同組合三菱広島協力会	2022. 8. 3(水)	43名
㈱横浜工作所	2022. 8. 19(金)	18名
協同組合函館どつく室蘭協力会	2022. 8. 30(火)	24名
大造協力事業協同組合	2022. 9. 15(木)	50名
トヨシップ事業協同組合	2022. 9. 21(水)	48名
下ノ江造船協力事業協同組合	2022. 9. 29(木)	22名
住友重機械造船協同組合	2022. 11. 15(火)	42名
住友重機械マリンエンジニアリング㈱ 佐世保	2022. 11. 25(金)	31名
長崎県金属工業協同組合	2022. 12. 13(火)	31名
ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会(鶴見)	2023. 2. 24(金)	32名
ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会(磯子)	2023. 3. 13(月)	25名
計 17ヶ所		586名

造船現場で過去に発生した労働災害をバーチャルリアリティー(VR)で再現して労働災害を疑似体験することで危険回避の感度をあげる教育を実施した。

VRコンテンツは、造船業オリジナルバージョン(造船現場での垂直梯子からの墜落転落、造船現場での吊り荷に挟まれ巻き込まれ災害)として、本年度から「造船現場でのパネルの崩壊・倒壊」を追加して実施し、教育効果の向上に努めた。

(※本事業は2020年4月より国土交通省及び厚生労働省の後援事業となっている。)

○教育内容

- ・VR災害体験
 - ア. 造船現場でのパネルの倒壊・崩壊災害体験
 - イ. 造船現場での垂直はしごからの墜落・転落災害体験
 - ウ. 造船現場での吊り荷に、はさまれ・巻き込まれ災害体験
 - エ. その他のVR災害体験(建設現場での足場からの墜落転落等)
 - オ. VR災害体験から学ぶ安全の専門家による安全講習
- ・保護具の有効性実験・体感
 - ア. (1) 防じんマスクの内圧と漏れ率をリアルタイムで確認
 - (2) 電動ファン付き呼吸用保護具の効果を体感

(㈱重松製作所)

- イ. (1) 保護眼鏡の耐衝撃性の実験
(2) 防曇性能の実験と脱着時の危険性について
(3) 振り向きによる眼の災害実験
(4) 防音保護具の正しい装着方法と性能体感
(株)重松製作所
- ウ. (1) ヘルメットの重要性、メンテナンスの必要性を説明
(2) フルハーネス型墜落制止用器具の利点を説明
(3) 墜落制止用器具のフックの正しい掛け方
(株)谷沢製作所 (サンコー株)
- エ. (1) 耐切創手袋の耐切創性能を実験
(2) 防振手袋の振動吸収性能を説明 (アトム株)
- オ. マスクの点検と使用方法等の解説 (株)重松製作所 (興研株)
- カ. 安全帯の点検と使用方法の解説 (株)谷沢製作所 (サンコー株)
- キ. 熱中症予防指導と個人用冷却器の注意事項 (興研株) (株)重松製作所

○インストラクターミーティング

2022年4月18日(月)、6月6日(月)、3月29日

実施場所：ナビオス横浜

議題：2022年度実施内容検討・総括、2023年度計画、講習デモンストレーション等

○造船業VR制作

- ・造船業VRソフト制作

教育内容の充実を図るため、造船現場をVR映像化し造船業に特化した日造協オリジナルVRコンテンツを追加制作した。

2021年度までに制作した3種類に続き、「爆発・火災」を題材としたVRコンテンツを制作した。

- ・造船業VR制作推進ワーキンググループ

2022年4月18日(月)、8月1日(月)、11月22日(火)、2023年2月1日(水)、3月6日(月)

実施場所：ナビオス横浜

議題：造船業オリジナルVR制作について、コンテンツシナリオの検討等

2) その他の実施事業 (自主事業)

現場で必要とされている安全衛生関連の特別教育等を会員や造船各社の協力を得て、一般に公開・公募し、低料金で提供している。

① 資格取得型教育

開催場所	実施教育名	実施日	受講者
愛知県豊橋市 (株)新来島豊橋造船	職長・安全衛生責任者 能力向上教育	2022. 5. 12(木)	38名
広島県呉市 (JMU株) 呉事業所	職長・安全衛生責任者教育	2022. 5. 21(土)、22(日)	15名
愛媛県越智郡上島町 (イワキテック株)	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2022. 6. 9(木)	30名
北海道函館市 (函館どつく株) 函館造船所	足場の組立て等特別教育	2022. 6. 21(火)	46名
大分県臼杵市 (株)臼杵造船所	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2022. 7. 21(木)	16名

鹿児島県いちき串木野市 (寿工業(株) 串木野工場)	足場の組立て等特別教育	2022. 7. 25(月)	15名
鹿児島県いちき串木野市 (寿工業(株) 串木野工場)	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2022. 7. 26(火)	17名
神奈川県横浜市 (JMU(株) 横浜事業所 鶴見工場)	ガス溶接作業主任者 能力向上教育	2022. 9. 2(金)	36名
神奈川県横浜市 (JMU(株) 横浜事業所 鶴見工場)	石綿使用建築物等解体等 業務特別教育	2022. 9. 12(月)	29名
神奈川県横須賀市 (住友重機械造船マリンエンジニアリング(株))	低圧電気取扱作業に係る 特別教育	2022. 9. 26(月)	25名
神奈川県横浜市 (JMU(株) 横浜事業所 磯子工場)	石綿使用建築物等解体等 業務特別教育	2022. 10. 3(月)	8名
宮城県気仙沼市 (気仙沼魚市場)	足場の組立て等特別教育	2022. 10. 11(火)	17名
長崎県長崎市 (福岡造船(株) 長崎工場)	職長・安全衛生責任者教育	2022. 11. 10(木)、11(金)	30名
神奈川県横浜市 (三菱重工業(株) 横浜製作所)	職長・安全衛生責任者教育	2022. 11. 17(木)、18(金)	14名
愛知県豊橋市 (株)新来島豊橋造船)	職長・安全衛生責任者 能力向上教育	2022. 12. 7(水)	12名
東京都港区 (株)IMC)	酸素欠乏・硫化水素 危険作業特別教育	2022. 12. 15(木)	21名
神奈川県横浜市 (三菱重工業(株) 横浜製作所)	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2022. 12. 16(金)	17名
広島県広島市 (三菱重工業(株) 広島製作所 江波工場)	職長・安全衛生責任者教育	2023. 1. 17(火)、18(水)	23名
神奈川県横浜市 (JMU(株) 横浜事業所 磯子工場)	職長・安全衛生責任者 能力向上教育	2023. 2. 27(月)	33名
計 19ヶ所			442名

3) 安全衛生資料等の作成・提案 (自主事業)

① ホームページによる安全衛生に関するコンテンツ掲載

前年度に引き続き、作成した安全衛生に関する資料等をホームページを利用し、会員以外にも利用してもらえよう掲載した。

② 安全衛生啓発ポスター等を制作し会員、会員外に広く配布した。

- ・2023年安全カレンダー
- ・災害多発事例ポスター(第16作)

(3) 技術安全委員会

労働災害の動向、防止対策について討議した。

2022年度第1回 2022年11月16日(水) ナビオス横浜 (WEB併用)

- 主な議題
1. 2022年度の活動報告について
 2. 再発防止のための「災害多発事例ポスター」の内容検討について
 3. 2023年度の事業計画について
 4. 全国造船安全衛生対策推進本部(全船安)活動について
 5. 日本中小型造船工業会の安全の取り組み等について
 6. 各地の災害発生状況と災害防止の取り組み等について

2022年度第2回 2023年3月16日(木) 芝パークホテル (WEB併用)

- 主な議題
1. 2022年度の活動報告(完了報告見込等)について
 2. 再発防止のための「災害多発事例ポスター」作成報告について
 3. 2023年度の事業計画について

4. 全国造船安全衛生対策推進本部(全船安)活動について
5. 日本中小型造船工業会の安全の取り組み等について
6. 各地の災害発生状況と災害防止の取り組み等について

2. 安心の確保

(1) 労災補償共済事業

1) 労災補償共済制度の内容

本制度は、普通会員所属企業の従業員等の業務災害並びに通勤災害により被災した従業員等に対する所属企業の補償を支援し、経営の安定に資することを目的としている。

① 給付対象：労災保険法第7条による業務災害並びに通勤災害による死亡又は障害（障害等級7級以上）に対して給付される。

② 登録口別及び月額掛金：

登録口別	3000万円口	2000万円口	1500万円口	1000万円口	500万円口
月額掛金	1,800円	1,200円	900円	600円	300円

2) 加入事業所数及び登録者数

2022年4月の加入事業所数及び登録者数は、603事業所14,330名であり、2023年3月現在、576事業所、13,357名(973名減)となった。

(前年3月 618事業所、14,433名)

	加入事業所数	登録者数
4月	603	14,330
5月	602	14,122
6月	602	14,194
7月	599	14,136
8月	598	14,180
9月	596	13,896
10月	592	13,729
11月	592	13,673
12月	593	13,731
1月	593	13,561
2月	594	13,667
3月	576	13,357

(平均実績 595 13,881)

3) 共済金の給付

本年度の共済金の給付は以下のとおり。

なお、船舶解撤企業協議会の災害(※1)について、昨年度に障害等級4級と見越して1,600万円を未払い計上したが、その後、障害等級3級が確定したため本年度の費用として差額の400万円を給付した。

災害発生年月日	会員名	給付金額	災害分類	死亡・障害	支払月	計上月
2021.3.23	佐伯プラント船舶事業協同組合	2,000万円	墜落・転落	障害1級	2022.4	2022.4
2021.8.5 ※1	船舶解撤企業協議会	400万円	挟まれ・巻込まれ	障害3級	2022.4	2022.4

2021. 6. 9	臼杵造船事業協同組合	2,000万円	激突	障害1級	2022. 8	2022. 8
2021. 5. 28	川重坂出事業協同組合	2,100万円	飛来・落下	障害5級	2023. 1	2023. 1
2023. 2. 22	造船構外企業協議会	1,000万円	不明	死亡	—	2023. 2
合 計 (5件)		7,500万円				

(予算額) (5件 8,500万円)

4) 共済業務委託費

会員事務局への委託事務の増加等に伴い、2019年度から5年間の一時的措置として前年度受取共済掛金総額の20%から22%相当に増率し計上した。

共済業務委託費の支払いは、前期(9月)・後期(2月)の2回に分けて会員指定口座に送金した。

5) 共済掛金の還付

登録者数の減少に伴い受取共済掛金が大幅に減少したこと、また、共済金の給付が前年度に比べて増加したことなど、共済事業に係る会計の収支状況を勘案し、本年度の共済掛金の還付は行わないこととした。

6) 「労災補償共済制度」及び「日造協団体災害補償制度(AIG上乘せ保険)」への加入促進説明会 会員の協力を得て、各制度の加入促進のため説明会を実施した。

実施場所	実施日	参加者数
臼杵造船事業協同組合	2022. 7. 4(月)	17名
日造協事務局(WEB) ※2	2022. 8. 24(水)	1名
気仙沼造船団地協同組合	2022. 9. 20(火)	14名
協同組合三菱長船協力会	2022. 10. 6(木)、7(金)	71名
函館どつく安全衛生協力会	2022. 10. 28(金)	19名
ジャパンマリンユナイテッド有明協力会	2022. 11. 17(木)	18名
協同組合函館どつく室蘭協力会	2022. 11. 30(水)	13名
ジャパンマリンユナイテッド(株)津事業所協力会	2022. 12. 16(金)	20名
福岡造船株式会社長崎協力会	2023. 1. 30(月)	16名
下ノ江造船協力事業協同組合	2023. 2. 14(火)	16名

※2 WEBで造船構外企業協議会の所属企業に対してAIG上乘せ保険の説明を行った。

(2) 日造協団体災害補償制度 (AIG上乘せ保険)

3月現在の加入社数は100社であり、団体加入メリットとして保険料20%割引が適用されている。(100社以上20%割引、100社未満15%割引)

(3) 共済制度運営委員会

2022年度第1回 2023年3月16日(木) 芝パークホテル (WEB併用)

- 主な議題
1. 2022年度事業報告(見込)について
 2. 共済掛金の還付について
 3. 2023年度事業計画(案)について

3. 経営基盤の強化

(1) 雇用労務に関する調査指導

1) 造船協力事業者の人材確保

昨年度に引続き、連携する各地域行政等が実施する移住相談会等の各種イベントに参加し、業界企業とのマッチングや業界PRを行った。新型コロナウイルスへの対策は地域行政により異なるが、従前の対面式が増加傾向となった。

① 潜在的求職者と造船関連事業者のマッチング

○協力地域行政：広島県、尾道市、呉市、玉野市、臼杵市、佐伯市、玉名市

○地域行政と連携（IUターンフェア等参加）

連携する地域行政等が対面式での企業説明会等を2年ぶりに開催し、WEBとの併用が増加している。また、市などの地域行政に向けて地域会員の求人情報（ハローワーク）を定期的に情報提供し、ポータルサイトへ掲載している情報等と併せて、求職相談会等で活用されている。

2022年6月11日(土)	広島県主催	移住相談会	有楽町交通会館
〃	大分県主催	〃	〃
2022年8月13日(土)	尾道市主催	合同企業説明会	尾道市
2022年9月10日(土)	広島県主催	移住相談会	有楽町交通会館
2022年9月25日(日)	ふるさと回帰支援センター主催		
		「ふるさと回帰フェア」	東京国際フォーラム
2022年11月13日(日)	広島県主催	移住相談会	有楽町交通会館
2023年2月18日(土)	尾道市主催	高校生対象企業ガイダンス	尾道市
2023年3月10日(金)	尾道市主催	合同企業説明会	尾道市

○冊子「造船しごと紹介本」の配布

昨年度、日本財団助成事業で作成した造船に関連する協力事業者の仕事を広く紹介する「造船しごと紹介本」について、会員や広島・九州の地方運輸局に向けて、約1,000部の追加印刷、配布を行った。リクルート活動や各運輸支局から地域の高校向けに実施するイベントなどで配布された。

当冊子は、求職者や学校関係者、職安や行政関係者などからの「造船関係の具体的な仕事かわからない」との要望に答えるため作成したもので、当会の所属企業の個々の職種について、簡潔にイラストなどで分かり易くまとめたものである。

会員企業のリクルート機会を支援するため、これまでにプレリリース版を含め約9,000部を会員はじめ学校や行政等に配布した。

なお、同冊子はWEBでも閲覧できるように掲載している。

○ポータルサイト「RECRUIT JOURNAL」の更新（造船しごと紹介本との連携）

会員企業の紹介や造船しごと紹介本との連携のため、随時更新した。

② 造船関連業のPR事業

昨年度まで実施していた人材確保事業の一環として、業界のPRなどを行う事業を実施するため、第39回理事会にて事業計画の変更を行った。

○地域プロモーションの実施

造船地域毎に造船関連の職種や企業をSNSなどを利用して動画等を発信し、求人の足枷となる業界の古いイメージを払拭していく。実施地域は、希望調査等により各会員、関

係先と随時、相談のうえ実施することとした。

なお、事業実施にあたり厚生労働省の補助金を利用するため、申請の手続きを開始した。

(2) 政策研究委員会

2022年度第1回 2022年5月12日(木) センチュリー21広島 (WEB併用)

1. 2022年度からの人材確保事業の実施について
2. 事業計画の変更について

委員会では今後の人材確保事業について、将来を見据え業界のPR等を継続することが必要であるとし、事業計画の変更を含め正副会長会議に提出し理事会で承認された。

2022年度第2回 2023年2月2日(木) WEB会議

1. 2022年度事業報告及び2023年度事業計画について
2. 厚生労働省助成金の事業実施に関わる労働環境向上委員会の設置について

労働環境向上委員会の設置と同委員については、当委員会で担当することとした。

(3) 広 報

1) 一般広報

本年度も前年度に引き続き業界各誌との合同記者会見を2022年12月16日に実施し、河西会長が造船協力事業者の現状及び日造協の課題や運営方針を発表した。

また、「新年」及び「海の日」発刊の業界各誌に当連合会の広告を掲載した。

2) 機関紙発行

機関紙「日造協」(昭和52年9月16日第三種郵便物認可)は、当連合会の広報活動の中心として毎月5日に4,800部発行し、会員はもとより関係省庁、造船元請事業所、関係団体、海事関係者、報道機関等へ配布した。当連合会の活動内容、関係省庁の行政記事、日本財団事業紹介、その他各種情報を掲載した。また、経営者向けのコラムや安全衛生読本のマンガ版を掲載するなど親しみやすい紙面づくりに努めた。(7月号と1月号はカラー版)

本年度は、これまで572号から583号まで発行した。各号の主な記事は次のとおり。

○572号(4月)

- ・第36回理事会・2021年度第1回臨時総会開催
- ・2021年度最後の労働災害バーチャルリアリティー体験教育実施
- ・政策研究委員会、技術安全委員会、共済制度運営委員会、日造協企画部会開催
- ・2021年度アドバイザー相談会実施認定証を授与

○573号(5月)

- ・フルハーネス型安全帯使用作業特別教育開催
- ・足場の組立て等特別教育開催
- ・本年度のVRに新コンテンツ「崩壊・倒壊災害」を追加
「労働災害バーチャルリアリティー体験教育」インストラクターミーティング開催
- ・造船業VR制作推進ワーキンググループ開催

○574号(6月)

- ・熱中症予防管理者講習会開催
- ・職長・安全衛生責任者能力向上教育開催
- ・政策研究委員会開催

- ・安全衛生アドバイザー相談会開催
- 575号(7月)
- ・海の日に寄せて 河西会長
 - ・第10回定時総会・懇親会開催
 - ・全国合同塗装部会開催
 - ・広島県移住フェアにて人材確保事業実施
 - ・職長・安全衛生責任者能力向上教育開催
 - ・熱中症予防管理者講習会開催
 - ・「労働災害バーチャルリアリティー体験教育」インストラクターミーティング開催
 - ・2022年度初の労働災害バーチャルリアリティー体験教育実施
 - ・フルハーネス型安全帯使用作業特別教育開催
 - ・安全衛生アドバイザー相談会開催
 - ・熱中症注意喚起ポスターを制作・配布
- 576号(8月)
- ・中国支部令和4年度通常総会開催
 - ・足場の組立て等特別教育開催
 - ・労働災害バーチャルリアリティー体験教育開催
 - ・安全衛生アドバイザー相談会開催
- 577号(9月)
- ・祝2022年海の日表彰
 - ・2022年度第1回正副会長会議開催
 - ・労働災害バーチャルリアリティー体験教育実施
 - ・フルハーネス型安全帯使用作業特別教育開催
 - ・造船業VR制作推進ワーキンググループ開催
 - ・足場の組立て等特別教育開催
 - ・2022年度第1回日造協企画部会開催
- 578号(10月)
- ・労働災害バーチャルリアリティー体験教育実施
 - ・安全衛生アドバイザー相談会開催
 - ・安全のプロ養成講座(徒弟制度)座学研修eラーニング実施
 - ・ガス溶接業務従事者安全衛生教育開催
 - ・石綿使用建築物等解体等業務特別教育開催
- 579号(11月)
- ・第39回理事会・2022年度第1回臨時総会開催
 - ・労働災害バーチャルリアリティー体験教育実施
 - ・安全衛生アドバイザー相談会開催
 - ・低圧電気取扱業務に係る特別教育開催
 - ・石綿使用建築物等解体等業務特別教育開催
 - ・足場の組立て等特別教育開催
 - ・人材確保事業(広島瀬戸内移住フェアとふるさと回帰フェアにブース出展)
- 580号(12月)
- ・2022年度支部長会議開催
 - ・東日本支部会議、近畿支部連絡協議会、四国地方支部会、九州支部総会開催
 - ・労働災害バーチャルリアリティー体験教育実施
 - ・造船業VR制作推進ワーキンググループ開催
 - ・2022年度第1回技術安全委員会開催

- ・職長・安全衛生責任者教育開催
- ・2022年度第2回日造協企画部会開催
- ・造船所での高校生向け職場見学会開催
- ・人材確保事業(広島県主催フェアにブース出展)
- ・令和4年度海事振興連盟通常総会開催

○581号(1月)

- ・新年を迎えて(河西会長)
- ・年頭所感(国土交通省海事局長 高橋一郎氏)
- ・新年を迎えて((一社)日本造船工業会会長 宮永俊一氏)
- ・新年のご挨拶((一社)日本中小型造船工業会会長 越智勝彦氏)
- ・新年のメッセージ(日造協各副会長、事務局一同)
- ・労働災害バーチャルリアリティー体験教育実施
- ・河西会長記者会見

○582号(2月)

- ・職長・安全衛生責任者教育開催
- ・安全衛生アドバイザー相談会開催
- ・アドバイザーミーティング、徒弟制度受講者相互勉強会開催
- ・酸素欠乏・硫化水素危険作業特別教育開催
- ・フルハーネス型安全帯使用作業特別教育開催
- ・安全講習会実施

○583号(3月)

- ・2022年度第2回正副会長会議開催
- ・職長・安全衛生責任者教育開催
- ・安全衛生アドバイザー相談会開催
- ・安全のプロ養成講座「疑似演習」「準アドバイザー認定試験」開催

(4) 表彰推薦業務

会員及び会員所属企業の適格者を関係官庁へ推薦した。(敬称略・会員名簿順)

1) 国土交通大臣表彰 (2022年「海の日」)

江見 重人	海事功労	協同組合アイ・エイチ・アイ相生協力会
中谷 嘉郎	海事功労	川重協力工場協同組合
麻生 貴紀	海事功労	下ノ江造船協力事業協同組合

2) 運輸局長表彰 (2022年「海の日」)

関東運輸局長表彰

上宮 健三	海事功労	ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会
黒川 貞晴	永年勤続	ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会

中国運輸局長表彰

有松 千寿	永年勤続	三井E & S 玉野協力会
津村 哲也	永年勤続	サノヤス水島事業協同組合
松浦 孝幸	海事功労	ヒッツ・ジャパンマリンユナイテッド因島事業協同組合
亀井 裕一	永年勤続	造船構外企業協議会

四国運輸局長表彰

越智 泰之	永年勤続	大西造船関連工業協同組合
-------	------	--------------

九州運輸局長表彰

三浦 学 海事功労 協同組合三菱長船協力会
福田 秀則 海事功労 協同組合三菱長船協力会

3) 海事事務所長表彰 (2022年「海の日」)

鳥羽海事事務所長表彰

小久保 和文 海事功労 ジャパンマリユナイテッド船津事業所協力会

(5) 調査研究・指導等

1) 税制の利用状況調査・報告

国土交通省海事局の依頼を受けて、会員及び会員所属企業へ「造船業・船用工業に関する税制の利用状況調査」を毎年実施しており、本年度は8月に実施した。

2) 国土交通省海事局の依頼を受けて、雇用調整助成金の活用状況についての調査を4月及び7月に実施した。

3) 日本財団造船関係資金貸付事業借入手続き指導

日本財団がボートレースの収益金によって行う「2022年度造船関係貸付事業」の各種資金を会員に対して周知した。融資利率は年1.6%以内で利用企業の負担の軽減となっている。設備の新設・増設・改造を行うための設備資金、資材の仕入・販売・加工・製造または諸経費等の支払いのための一般運転資金の申請・決定については以下のとおり。

① 設備資金 (利率は年1.6%以内)

区分	申請企業数	融資決定額(千円)	資金交付日
第2回	1件	90,000	2022.8.23

② 一般運転資金 (利率は年1.6%以内)

区分	申請企業数	融資決定額(千円)	資金交付日
第1回	10件	834,000	2022.7.7
第2回	7件	570,000	2022.12.6

(6) 日造協実態調査

日造協会所属企業の経営実態等を把握し、今後の業界対策の資料とするために毎年実施している。本年度は、9月から10月にかけて調査を実施した。

1) 調査内容

- ①売上高の推移 ②人員数の推移 ③設備投資実績 ④業況・景気見通し
⑤税制措置、助成金等の活用状況 ⑥外国人材の活用状況
⑦女性・高齢者の雇用状況 ⑧日造協事業で活用している事業

2) 対象企業 会員所属企業を対象とした全数調査

(7) 外国人材の活用

1) 従来、出入国管理及び難民認定法(入管法)体系の中で運用されてきた外国人就労者受入制度であったが、2017年11月に外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律が施行され、現在の「技能実習」の制度が確立された。この制度では技能実習計画の認定、監理団体の許可など外国人技能実習機構による手続きが煩雑になることから適時、会員・所属企業・監理団体等に情報提供を行った。

2) 更に、2019年4月からは専門的・技術的な外国人材の受入れ制度を拡充するため入管法が改正され、新たな在留資格として「特定技能」の制度が設けられた。造船業では、造船・

船用工業分野における溶接、塗装、鉄工、仕上げ、機械加工、電気機器組立ての6職種が特定技能1号の在留資格として認められている。

- 3) これに伴い「造船特定活動」の制度は2022年度末をもって終了し、2023年度からは「技能実習」と「特定技能」の制度により運用することとなるが、両制度については政府が見直しを検討しているとの報道もあることから、引き続き動向を注視し、会員・所属企業・監理団体等に必要な情報提供を行う。

(8) 人材流動化（会員業況情報）

今後の人材不足などについて、会員同士の情報交換の一助となる様、「会員別・営業内容別事業所名簿」を数年ぶりに更新し、会員に配布した。

(9) 会員交流会等

会員事業者による会員交流会等の開催について、コロナ禍の状況に鑑み開催は見送られた。

(10) 業界の情報の提供

新聞等、国土交通省や厚生労働省等の動向等の情報を会員へメール配信した。

(11) 人材確保事業関係

政策研究委員会で今後の人材確保事業に関する計画の立案や策定を行った。

4. 技術・品質の向上

(1) 部会活動

1) 日造協塗装部会

船舶の建造にかかわる多くの職種の中で塗装工事は、造船会社の協力企業に対する依存度が他職種に比べ極めて高く、現場作業の大部分を協力企業が担っている。そのため塗装事業者の業界横断組織である日造協塗装部会が設置され、塗装全般にわたり意見交換や調査検討等の活動を行っている。以下のとおり、全国塗装部会を開催し講演会、情報交換会を行った。

2022年度 東日本・全国合同塗装部会 2022年6月2日(木) 東京ドームホテル

講演会 「化学物質管理の変更と電動ファン付き呼吸用保護具の現状」

講師 株式会社重松製作所

営業本部長付部長 今川 輝男 氏

営業本部マーケティング部長 今村 太陸 氏

2) 日造協企画部会

本部会は、造船協力事業者間、特に若手経営者による交流・研鑽の場として運営され、情報の収集、アンケート調査、部会誌の発行等を行っている。

本年度の活動内容は以下のとおり。

- ・第1回日造協企画部会 2022年7月22日(金)

場所 ホテルグランヴィア岡山

議事 1. 部会員の異動報告

2. 2021年度活動報告・収支決算

3. 2022年度活動計画・収支予算

4. 企画部会アンケートについて

5. 任期満了による役員改選について

講演 「花柳界で学んだ幸せな成功者の小さな習慣」

随筆家 千代里 氏

- ・ 第 1 回日造協企画部会幹事会 2022年9月2日(金) WEB会議
議事 1. 2022年度第 2 回開催時期及び開催場所について
2. 2022年度第 2 回開催内容について
- ・ 第 2 回日造協企画部会 2022年11月11日(金)
場所 リーガロイヤルホテル小倉
議事 1. 部会員の異動報告
2. 企画部会アンケートについて
見学 下関バイオマス発電所
- ・ 第 2 回日造協企画部会幹事会 2023年1月31日(火) WEB会議
議事 1. 2023年度第 1 回開催時期及び開催場所について
2. 2023年度第 1 回開催内容について

(2) 購入あっせん事業

- 1) 熱中症対策用品 (塩分チャージタブレットBIG、アクアソリタ)
熱中症予防対策として、塩分チャージタブレットBIG、アクアソリタ(経口補水液)を日造協会員限定特別価格で購入あっせんを行った。
- 2) 熱中症対策用品 (冷感アンダーシャツ、パーソナルクーラー)
火傷の重篤化防止、夏季の暑熱対策として木綿仕様の冷感アンダーシャツを、また、冷感アンダーシャツと併用する事で冷却効果をUPさせるパーソナルクーラー(V-200)を日造協会員限定特別価格で購入あっせんを行った。
- 3) 塗装業における刷毛・ローラー
塗装作業の消耗品である刷毛とローラーについて、日造協会員専用品(オリジナル製品)を、日造協会員限定特別価格で購入あっせんを行った。
- 4) 防災用品
いつ起こるか分からない災害に備え、とにかく命を守るために行う「一時避難」用に必要な防災グッズについて、水や保存食以外のセットで厳選し、日造協会員限定特別価格で購入あっせんを行った。
- 5) 電動ファン付呼吸用保護具
2022年4月より金属アーク溶接作業を継続して行う屋内作業場では、溶接ヒューム濃度測定の結果に応じた防護性能のマスク使用が義務付けられている。そのため、要件を満たす電動ファン付呼吸用保護具(機器の取扱い講習会を含む)を、日造協会員限定で購入あっせんを行った。
- 6) 墜落制止用器具
原材料の高騰を受け、墜落制止用器具の値上がりも決定された。そのため、値上がり前の価格で販売を行う最後の機会として、胴ベルト型、ハーネス型を日造協会員限定特別価格で日造協オリジナル墜落制止用器具の購入あっせんを行った。
- 7) 難燃性作業服
JIS規格・ISO規格適合品であり、溶接時のスパッタ、炎や熱から身体を守り、綿100%の着心地の良さ、動きやすさ抜群の難燃性作業服について、日造協会員限定特別価格で購入あっせんを行った。
- 8) 温感アンダーウェア
化学繊維を使わず、100%木綿で火の粉やスパッターなどで重篤な火傷等を引き起こすことの少ない素材で、裏面には蓄熱効果の高いテラヘルツ人口鉱石が練りこまれていてやさしさ

と強さを兼ね備えた特殊素材となっている「アンダーシャツとアンダーパンツ」を、日造協会員限定特別価格で購入あっせんを行った。

(3) 地域研修センターによる技能者育成支援事業

全国6ヶ所（東日本、相生、因島、今治、大分、長崎）で地域造船技能研修を行っており、本年度においては新人研修及び専門研修を順次実施した。

(4) 指定技能講習

昭和49年から平成10年までの間日造協が実施していた指定技能講習の修了者は、玉掛、溶接、足場の3種でのべ約3,900名にのぼる。当連合会では、これらの資格者に対して修了証の再交付、書替交付等の業務を修了者からの申請に基づき引き続き実施した。

(5) 先進国型シップリサイクル

国土交通省海事局による「シップリサイクル条約」の批准に向けた作業に積極的に協力し、平成30年通常国会において「船舶の再資源化解体の適正な実施に関する法律」が成立、平成31年3月に同条約を批准した。

シップリサイクル条約については、令和5年2月末時点で未発効の状況であり、船舶の再資源化解体の適正な実施に関する法律についても施行されていない。

5. 安全統計等

当連合会は昭和46年の設立時から毎年、会員の安全意識の高揚・啓蒙を図るため安全統計を実施している。

- (1) 死亡災害分類と災害件数の推移(暦年別)
- (2) 災害度数率・強度率の推移(暦年別)
- (3) 2022年(令和4年)会員別安全成績
- (4) 2022年(令和4年)安全成績優良会員表彰

(1) 死亡災害分類と災害件数の推移（暦年別）

分類 暦年	A. 動力運転災害				B. 作業行動災害					C. 特殊危険災害				D. 雑原因災害			E. 通勤 災害	合計	
	① 動力伝導装置災害	② 動力揚重機災害	③ 動力運搬機災害	④ 一般動力機災害	⑤ 手動揚重運搬機災害	⑥ 手動機工具災害	⑦ 取扱運搬災害	⑧ 飛来崩壊災害	⑨ 激突踏抜災害	⑩ 墜落災害	⑪ 電気災害	⑫ 毒劇災害	⑬ 爆発破裂災害	⑭ 高熱災害	⑮ 火事災害	⑯ 倒壊災害			⑰ 雑災害
47		4	2				2	2	10						1			(21
48		2	3					2	8	1								資	16
49		1	1	1			1	3	6			1	1	7				料	22
50		2	3					3	7										15
51		1						3	11		1			1					17
52		1			1	1		5	5		2								15
53		1					2	1	9						1			な	14
54		1	1					1	3	4	1				3				14
55		1	1					1	9									し	12
56		2							2								1)	5
57		3						4	6	1				8				2	24
58		1	4						3	1	1		1				1		12
59		4							8			1					1	1	15
60		2							5								1	4	12
61		1	2					1	3			2					2	1	12
62		2	1					2	4		1								10
63		2		1					1								1	2	7
元	1	1						1	3			7						2	15
2								2	2		1			1		1	1	1	8
3		1	1						5	1								1	9
4			1	1				1	3		1	1							8
5								3	1		1								5
6			1	1					3									1	6
7								1	1								1	3	6
8		1	2						3										6
9		1	4					1	3		2							1	12
10		1	1	1					2		1	1						3	10
11			2					1											3
12		1							4	1	2								8
13		2						2	1		2								7
14									3									1	4
15								1	1		2						1		5
16	1								1			1							3
17											1						1	1	3
18								1	1		1								3
19								1	2			2	1						6
20			1					1					2						4
21		1		1					3		1								6
22		1	1	1						1									4
23								1	1									2	4
24		1							3										4
25							1			1									2
26														1		2			3
27								1	1	1					2				5
28									1										1
29		1							1										2
30			1		1		1		3		2							3	11
元		1	1						1				1		1				5
2						1							1						2
3																			0
4																			0
計	2	44	34	7	2	2	7	46	3	154	9	22	16	7	23	3	13	29	423

(2) 災害度数率・強度率の推移（暦年別）

年	延労働時間	延労働 損失日数	死 亡 (業務災害)	永久全・一 部労働不能	休業8日 以上	休業7日 以下	計	度数率	強度率
47	106,386,381	187,699	21	0	510	88	619	5.82	1.76
48	116,246,876	147,397	16	0	505	142	663	5.70	1.27
49	118,224,137	228,782	22	1	499	121	643	5.44	1.94
50	112,131,326	126,620	15	4	466	117	602	5.37	1.13
51	92,826,189	139,857	17	0	385	87	489	5.27	1.51
52	89,319,812	122,977	15	0	352	55	422	4.72	1.38
53	67,238,783	112,783	14	2	223	31	270	4.02	1.68
54	57,300,111	112,165	14	0	179	27	220	3.84	1.96
55	73,854,365	106,874	12	4	270	58	344	4.66	1.45
56	91,496,616	47,634	5	1	259	48	313	3.42	0.52
57	86,243,532	200,792	22	3	237	59	321	3.75	2.33
58	74,504,039	109,799	12	2	202	28	244	3.27	1.47
59	76,282,133	120,743	14	1	209	37	261	3.43	1.58
60	70,423,064	96,013	8	0	164	31	203	2.94	1.36
61	59,966,219	109,356	11	2	125	19	157	2.63	1.82
62	46,214,593	78,539	10	0	74	8	92	1.99	1.70
63	45,248,816	56,305	5	0	108	15	128	2.87	1.24
元	49,364,057	123,661	13	1	110	9	133	2.73	2.51
2	52,389,652	63,288	7	0	94	9	110	2.12	1.21
3	53,954,407	84,180	8	3	93	15	119	2.22	1.56
4	54,430,813	62,601	8	0	79	9	96	1.76	1.15
5	54,327,764	40,101	5	2	75	8	90	1.66	0.74
6	52,292,881	47,513	5	0	57	4	66	1.28	0.91
7	52,561,563	46,858	3	0	66	6	75	1.48	0.89
8	56,806,405	48,092	6	1	79	13	99	1.74	0.85
9	59,496,748	91,555	11	0	77	19	107	1.82	1.54
10	57,138,947	78,242	7	0	73	7	87	1.58	1.37
11	52,293,910	17,141	3	0	50	2	55	1.03	0.33
12	49,459,661	48,694	8	2	63	12	85	1.69	0.98
13	56,526,201	55,858	7	1	81	16	105	1.85	0.98
14	57,190,733	29,464	3	3	70	16	92	1.61	0.52
15	59,692,198	35,103	5	0	109	16	130	2.18	0.59
16	58,218,583	19,080	3	0	84	16	103	1.77	0.33
17	61,074,349	20,120	2	0	118	11	131	2.14	0.33
18	70,553,171	33,011	3	1	113	27	144	2.04	0.47
19	76,763,012	35,494	6	1	168	43	218	2.84	0.68
20	78,679,093	37,870	4	1	155	34	194	2.47	0.48
21	78,974,833	66,864	6	2	166	28	204	2.58	0.84
22	75,975,855	35,590	4	0	121	35	160	2.10	0.46
23	75,039,240	19,367	2	0	103	32	137	1.83	0.26
24	69,622,374	34,192	4	0	89	23	116	1.67	0.49
25	61,124,224	17,971	2	1	69	16	88	1.44	0.29
26	67,215,721	31,601	3	2	94	27	126	1.87	0.47
27	70,237,279	41,906	5	0	88	38	131	1.87	0.60
28	74,328,891	10,568	1	0	75	38	114	1.53	0.14
29	70,794,434	18,738	2	1	77	10	90	1.27	0.27
30	68,322,257	63,423	8	0	90	19	117	1.71	0.93
元	63,871,245	40,925	5	0	84	31	120	1.88	0.64
2	53,329,522	18,252	2	1	64	19	86	1.60	0.34
3	48,831,796	15,637	0	2	58	29	89	1.82	0.32
4	45,198,668	2,171	0	0	49	21	70	1.55	0.05

- ・度数率：労働時間100万時間あたりに発生した死傷者数を示すもので次の算式であらわされる。
度数率＝死傷者数÷延労働時間数×1,000,000
- ・強度率：労働時間1000時間あたりの作業量に対する労働損失日数を示すもので次の算式であらわされる。
強度率＝労働損失日数÷延労働時間数×1,000
- ・通勤災害は含まない。

(3) 2022年(令和4年)会員別安全成績

項目 会員名	死 亡	永久全・一部 労働不能	休業8日 以 上	休業7日 以 下	計	度 数 率	強 度 率
協同組合函館どつく室蘭協力会			1		1	5.31	0.04
函館どつく安全衛生協力会			3		3	2.93	0.13
ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会						0.00	0.00
三菱横製構内事業協力会						0.00	0.00
住友重機械造船協同組合						0.00	0.00
ヤマニシ協力会						0.00	0.00
東北ドック鉄工事業協同組合						0.00	0.00
気仙沼造船団地協同組合			5	3	8	10.59	0.15
新日本海重工業協力事業協同組合						0.00	0.00
トヨシップ事業協同組合						0.00	0.00
ジャパンマリンユナイテッド(株)津事業所協力会						0.00	0.00
日立造船大阪協力会						0.00	0.00
川重事業協同組合						0.00	0.00
由良ドック協力会			1		1	5.81	0.10
協同組合アイ・エイチ・アイ相生協力会						0.00	0.00
川重協力工場協同組合						0.00	0.00
三井E&S玉野協力会			1		1	0.29	0.00
サノヤス水島事業協同組合				1	1	1.44	0.01
ヒッツ・ジャパンマリンユナイテッド因島事業協同組合						0.00	0.00
内海造船事業協同組合			1		1	1.27	0.06
協同組合JMU呉協力会						0.00	0.00
協同組合三菱広島協力会						0.00	0.00
協同組合新笠戸ドック協力会						0.00	0.00
因島鉄工業団地協同組合			3		3	2.13	0.14
協同組合瀬戸内鉄工センター						0.00	0.00
旭洋造船株式会社協力会			1		1	1.99	0.15
川重坂出事業協同組合			1		1	1.24	0.04
大西造船関連工業協同組合			1		1	0.92	0.01
福岡造船福岡協力会						0.00	0.00
名村造船伊万里協力会			3		3	1.74	0.09
S S K協力事業協同組合						0.00	0.00
大造協力事業協同組合			3		3	0.79	0.03
協同組合三菱長船協力会			1		1	0.37	0.01
福岡造船株式会社長崎協力会			1		1	1.35	0.03
ジャパンマリンユナイテッド有明協力会						0.00	0.00
南日本造船協力事業協同組合			1		1	0.93	0.02
下ノ江造船協力事業協同組合			1	1	2	3.52	0.27
臼杵造船事業協同組合			2	1	3	4.54	0.11
佐伯プラント船舶事業協同組合			1		1	1.45	0.10
三浦造船協力事業協同組合				2	2	2.92	0.02
長崎県金属工業協同組合			2	2	4	3.00	0.05
協同組合寿協力会			4		4	9.77	0.30
本田重工業協力会				1	1	2.62	0.01
造船構外企業協議会			12	9	21	4.61	0.15
船舶解撤企業協議会				1	1	0.89	0.00
計			49	21	70		

※ 協同組合三菱広島協力会は、2022年に本表の他に労働損失日数未確定1件あり。確定次第本表に反映。

(4) 2022年(令和4年)安全成績優良会員表彰

地区	会 員 名	令和4年 安全成績得点	一般安全 表 彰	特別安全 表 彰
東 日 本	協同組合函館どつく室蘭協力会	98.10	○	○ 6年連続
	函館どつく安全衛生協力会	98.22	○	
	ジャパンマリユニテッド横浜協力会	100.00	○	
	三菱横製構内事業協力会	100.00	○	○ 5年連続
	住友重機械造船協同組合	100.00	○	○12年連続
	ヤマニシ協力会	100.00	○	○ 6年連続
	東北ドック鉄工事業協同組合	100.00	○	
中 部	新日本海重工業協力事業協同組合	100.00	○	○17年連続
	ジャパンマリユニテッド(株津事業所)協力会	100.00	○	○13年連続
近 畿	日立造船大阪協力会	100.00	○	○30年連続
	川重事業協同組合	100.00	○	○13年連続
	協同組合アイ・エイチ・アイ相生協力会	100.00	○	
	川重協力工場協同組合	100.00	○	○21年連続
中 国	三井E&S玉野協力会	99.89	○	
	サノヤス水島事業協同組合	99.52	○	
	ヒッツ・ジャパンマリユニテッド因島事業協同組合	100.00	○	
	内海造船事業協同組合	99.18	○	
	協同組合JMU呉協力会	100.00	○	○18年連続
	協同組合三菱広島協力会	100.00	○	○10年連続
	協同組合新笠戸ドック協力会	100.00	○	○14年連続
	因島鉄工業団地協同組合	98.38	○	
	協同組合瀬戸内鉄工センター	100.00	○	
旭洋造船株式会社協力会	98.37	○	○ 7年連続	
四国	大西造船関連工業協同組合	99.63	○	○15年連続
九 州	福岡造船福岡協力会	100.00	○	
	名村造船伊万里協力会	98.88	○	
	S S K協力事業協同組合	100.00	○	
	大造協力事業協同組合	99.56	○	
	協同組合三菱長船協力会	99.83	○	○10年連続
	福岡造船株式会社社長崎協力会	99.36	○	○ 7年連続
	ジャパンマリユニテッド有明協力会	100.00	○	
	南日本造船協力事業協同組合	99.57	○	
	佐伯プラント船舶事業協同組合	98.83	○	
	三浦造船協力事業協同組合	99.01	○	
	長崎県金属工業協同組合	98.78	○	○ 8年連続
	本田重工業協力会	99.16	○	○ 5年連続
	構外	船舶解撤企業協議会	99.73	○
合 計			37会員	18会員

(注) 安全表彰基準 (成績算定期間は2022年1月から2022年12月までの暦年とする)

① 一般安全表彰 あらゆる場所での死亡災害(通勤災害も含む)がゼロであって、次の算式により算定した得点が98点以上(小数点第三位以下四捨五入)の会員に対して行う。

$$\text{得点} = (100 - \text{度数率}) \times 0.3 + (100 - \text{強度率} \times 10) \times 0.7$$

② 特別安全表彰 5年以上連続して一般安全表彰を受けた会員に対して行う。

附属明細書

日造協役員名簿

2023.3.31現在

役職	氏名	会員名及び役職
会長	河西良二	住友重機械造船協同組合 理事長
副会長	山外正人	大造協力事業協同組合 理事長
〃	是永明文	造船構外企業協議会 相談役
〃	小久保和文	ジャパンマリンユナイテッド(株)津事業所協力会 会長
〃	平賀哲朗	協同組合三菱広島協力会 理事長
専務理事	野口雅史	事務局
常務理事	重入義治	事務局
理事	高橋修一	協同組合函館どつく室蘭協力会 理事長
〃	安井三郎	函館どつく安全衛生協力会 会長
〃	古川誠和	ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会 会長
〃	森野宏和	三菱横製構内事業協力会 会長
〃	佐々木貴美雄	ヤマニシ協力会 会長
〃	岸本武謙	新日本海重工業協力事業協同組合 副理事長
〃	川小北山謙武	トヨシップ事業協同組合 監事
〃	小岡田正昭	日立造船大阪協力会 会長
〃	里村和敏	川重事業協同組合 理事長
〃	江見重人	由良ドック協力会 会長
〃	四ツ井井彦	協同組合アイ・エイチ・アイ相生協力会 理事長
〃	鈴木木裕	川重協力工場協同組合 理事長
〃	西山地智生	三井E&S玉野協力会 会長
〃	引宗裕司	サノヤス水島事業協同組合 理事長
〃	板谷次幸	ヒッツ・ジャパンマリンユナイテッド因島事業協同組合 理事長
〃	柏原秀志	内海造船事業協同組合 理事長
〃	宮石森秀将	協同組合JMU呉協力会 理事長
〃	神原嘉智	因島鉄工業団地協同組合 理事長
〃	木村嘉智	協同組合瀬戸内鉄工センター 理事長
〃	椿原義達	旭洋造船株式会社協力会 会長
〃	萩原野達也	川重坂出事業協同組合 理事長
〃	中田崎正志	大西造船関連工業協同組合 理事長
〃	木下康彦	福岡造船福岡協力会 会長
〃	上村司	名村造船伊万里協力会 会長
〃	増尾初紀	SSK協力事業協同組合 理事長
〃	麻生松一	協同組合三菱長船協力会 理事長
〃	高梶川夫	福岡造船株式会社長崎協力会 会長
〃	光武直哉	ジャパンマリンユナイテッド有明協力会 会長
〃	黒佐剛郎	南日本造船協力事業協同組合 理事長
〃	甲斐教	下ノ江造船協力事業協同組合 理事長
監事	須田新崇	白杵造船事業協同組合 理事長
〃	大槻宏美	佐伯プラント船舶事業協同組合 理事長
〃	鈴木善也	三浦造船協力事業協同組合 理事長
〃	新川征彦	長崎県金属工業協同組合 理事長
		協同組合寿協力会 理事長
		本田重工業協力会 会長
		船舶解撤企業協議会 会長
		公益財団法人全国中小企業振興機関協会 専務理事
		公認会計士
		税理士

会長…1名	副会長…4名	専務理事…1名	常務理事…1名	理事…36名
理事総数…43名	監事…4名			

相談役…山口謙吉、前田和彦
顧問…松井賢二、宮村弘明

日造協会員名簿

2023. 3. 31現在

会 員 名	役 職	氏 名
-------	-----	-----

◎ 東 日 本 支 部 (8会員)

協同組合函館どつく室蘭協力会	理事長	高 橋 修 一
函館どつく安全衛生協力会	会 長	安 井 三 郎
ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会	会 長	古 川 誠
三菱横製構内事業協力会	会 長	森 野 宏 和
住友重機械造船協同組合	理事長	河 西 良 二
ヤマニシ協力会	会 長	佐々木 貴美雄
東北ドック鉄工事業協同組合	理事長	赤 間 英 樹
気仙沼造船団地協同組合	理事長	大 谷 寿 一

◎ 中 部 支 部 (3会員)

新日本海重工業協力事業協同組合	理事長	宇 野 修
トヨシップ事業協同組合	理事長	馬 場 光 雄
ジャパンマリンユナイテッド(株)津事業所協力会	会 長	小久保 和 文

◎ 近 畿 支 部 (5会員)

日立造船大阪協力会	会 長	小 山 武 夫
川重事業協同組合	理事長	岡 田 正 昭
由良ドック協力会	会 長	里 村 和 敏
協同組合アイ・エイチ・アイ相生協力会	理事長	江 見 重 人
川重協力工場協同組合	理事長	四ツ井 泰 彦

◎ 中 国 支 部 (10会員)

三井 E & S 玉野協力会	会 長	鈴 木 康 裕
サノヤス水島事業協同組合	理事長	西 山 智
ヒッツ・ジャパンマリンユナイテッド因島事業協同組合	理事長	引 地 一 生
内海造船事業協同組合	理事長	宗 政 裕 司
協同組合 J M U 呉協力会	理事長	板 谷 勝 次
協同組合三菱広島協力会	理事長	平 賀 哲 朗
協同組合新笠戸ドック協力会	理事長	安 田 勇 志
因島鉄工業団地協同組合	理事長	柏 原 秀 幸

会 員 名	役 職	氏 名
協同組合瀬戸内鉄工センター	理事長	宮 地 秀 志
旭洋造船株式会社協力会	会 長	石 森 将 史

◎ 四 国 支 部 (2会員)

川重坂出事業協同組合	理事長	神 原 満
大西造船関連工業協同組合	理事長	木 村 嘉 宏

◎ 九 州 支 部 (15会員)

福岡造船福岡協力会	会 長	椿 原 智 幸
名村造船伊万里協力会	会 長	萩 原 義 憲
S S K 協力事業協同組合	理事長	中 野 達 也
大造協力事業協同組合	理事長	山 外 正 人
協同組合三菱長船協力会	理事長	田 崎 正 志
福岡造船株式会社長崎協力会	会 長	木 下 康 彦
ジャパンマリンユナイテッド有明協力会	会 長	上 村 司
南日本造船協力事業協同組合	理事長	増 尾 初 則
下ノ江造船協力事業協同組合	理事長	麻 生 貴 紀
臼杵造船事業協同組合	理事長	下 松 一 也
佐伯プラント船舶事業協同組合	理事長	高 畠 裕 一
三浦造船協力事業協同組合	理事長	梶 川 茂 夫
長崎県金属工業協同組合	理事長	光 武 直 哉
協同組合寿協力会	理事長	黒 佐 剛
本田重工工業協力会	会 長	甲 斐 教 郎

◎ 造船構外企業対策本部 (2会員)

造船構外企業協議会	会 長	橋 本 勉
船舶解撤企業協議会	会 長	須 田 新 崇

賛助会員名簿

(順不同・敬称略)

賛助会員名	代表者名
三菱造船株式会社	北村 徹
ジャパンマリンユナイテッド株式会社	千葉 光太郎
三井E&S造船株式会社	小葉竹 泰則
川崎重工業株式会社	橋本 康彦
住友重機械マリンエンジニアリング株式会社	宮島 康一
株式会社新来島豊橋造船	高山 則雅
佐世保重工業株式会社	名村 建介
函館どつく株式会社	関川 義紀
株式会社名村造船所	名村 建介
株式会社大島造船所	平賀 英一
株式会社新来島サノヤス造船	森本 洋二
内海造船株式会社	原 耕作
株式会社臼杵造船所	山本 勇一
福岡造船株式会社	田中 嘉一
株式会社南日本造船	檜垣 清志
株式会社三浦造船所	三浦 唯秀
下ノ江造船株式会社	田中 章夫
佐伯重工業株式会社	竹中 浩
旭洋造船株式会社	越智 勝彦
本田重工業株式会社	増田 尚昭
寿工業株式会社	大坪 弘人
株式会社ヤマニシ	鈴木 正己
東北ドック鉄工株式会社	宮崎 剛
京浜ドック株式会社	小澤 敏也
株式会社みらい造船	木戸浦 健敏
一般社団法人日本造船工業会	宮永 俊一
公益財団法人日本海事広報協会	武藤 光一
一般社団法人日本船舶電装協会	山田 信一郎
一般社団法人日本船用工業会	木下 茂樹
一般社団法人日本船舶品質管理協会	片山 正典
一般財団法人日本船舶技術研究協会	田中 誠一
一般社団法人東北小型船舶工業会	千葉 浩介
一般社団法人関東小型船舶工業会	二宮 一也

賛助会員数：25社、8団体

2023.3.31現在

政策研究委員会委員名簿

(順不同・敬称略) (9名)

	氏名	所属支部	所属会員・役職	企業名・役職
委員長	平賀哲朗	中国	協同組合三菱広島協力会 理事長	平賀金属工業(株) 代表取締役
委員	川田利博	東日本	ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会 会計監査	千代田テクノシップ(株) 代表取締役社長
〃	佐野雅利	中部	ジャパンマリンユナイテッド(株)津事業所協力会 副会長	(株)サノセキエンジニアリング 代表取締役社長
〃	大塚一登	近畿	協同組合アイ・エイチ・アイ相生協力会 副理事長	(株)オーツカテック 代表取締役社長
〃	柏原秀幸	中国	因島鉄工業団地協同組合 理事長	新松浦産業(株) 代表取締役
〃	神原満	四国	川重坂出事業協同組合 理事長	神原工業(株) 代表取締役社長
〃	三浦学	九州	協同組合三菱長船協力会 副理事長	(株)三浦工業所 代表取締役会長
〃	高島裕一	九州	佐伯プラント船舶事業協同組合 理事長	壽工業(株) 代表取締役社長
〃	橋本勉	構外	造船構外企業協議会 会長	(株)日本メタルホース 代表取締役

技術安全委員会委員名簿

(順不同・敬称略) (11名)

	氏名	所属(企業名・役職)
委員長	山外正人	山外工業(株) 代表取締役社長
委員	眞下勝利	(株)眞下工業所 代表取締役社長
〃	瀬戸将之	(株)京浜マリンエンジニアリング 代表取締役
〃	松本誠一	松本工業(株) 代表取締役社長
〃	工藤幸一	(株)津マリン製作所 代表取締役社長
〃	松尾秀康	長田工業(株) 代表取締役社長
〃	下松一也	(有)テクノス 代表取締役
〃	伊藤和幸	ジャパンマリンユナイテッド(株)
〃	堀川秀樹	住友重機械マリンエンジニアリング(株) 企画管理部 安全グループ グループリーダー
〃	笹本裕三	(一社)日本造船工業会 総務部 部長
〃	白樫薫	(一社)日本中小型造船工業会 総務部 調査役

共済制度運営委員会委員名簿

(順不同・敬称略) (16名)

	氏名	所属会員名・役職	企業名・役職
委員長	小久保 和 文	ジャパンマリンユナイテッド(株)津事業所協力会 会長	(株)小久保鉄工所 代表取締役
委員	高 橋 修 一	協同組合函館どつく室蘭協力会 理事長	(有)三恵工業 代表取締役社長
〃	古 川 誠	ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会 会長	(株)セイワ 代表取締役社長
〃	森 野 宏 和	三菱横製構内事業協力会 会長	(株)森野帆布船具工業所 代表取締役
〃	勝 見 慎 一	住友重機械造船協同組合 副理事長	錦工業(株) 代表取締役
〃	岸 本 武 司	新日本海重工業協力事業協同組合 副理事長	岸本電設(株) 代表取締役
〃	岡 田 正 昭	川重事業協同組合 理事長	大永(株) 代表取締役社長
〃	江 見 重 人	協同組合アイ・エイチ・アイ相生協力会 理事長	(株)江見工業所 代表取締役社長
〃	鈴 木 康 裕	三井E&S玉野協力会 会長	(株)玉組 代表取締役副社長
〃	西 山 智	サノヤス水島事業協同組合 理事長	(株)水島技研 代表取締役社長
〃	神 原 満	川重坂出事業協同組合 理事長	神原工業(株) 代表取締役社長
〃	木 村 嘉 宏	大西造船関連工業協同組合 理事長	大西シャーリング(株) 代表取締役社長
〃	椿 原 智 幸	福岡造船福岡協力会 会長	椿原工業(株) 代表取締役
〃	田 崎 正 志	協同組合三菱長船協力会 理事長	(株)吉本ハイテック 代表取締役
〃	高 畠 裕 一	佐伯プラント船舶事業協同組合 理事長	壽工業(株) 代表取締役
〃	鈴 木 善 也		公認会計士

日造協塗装部会会員名簿

(順不同・敬称略) (6名)

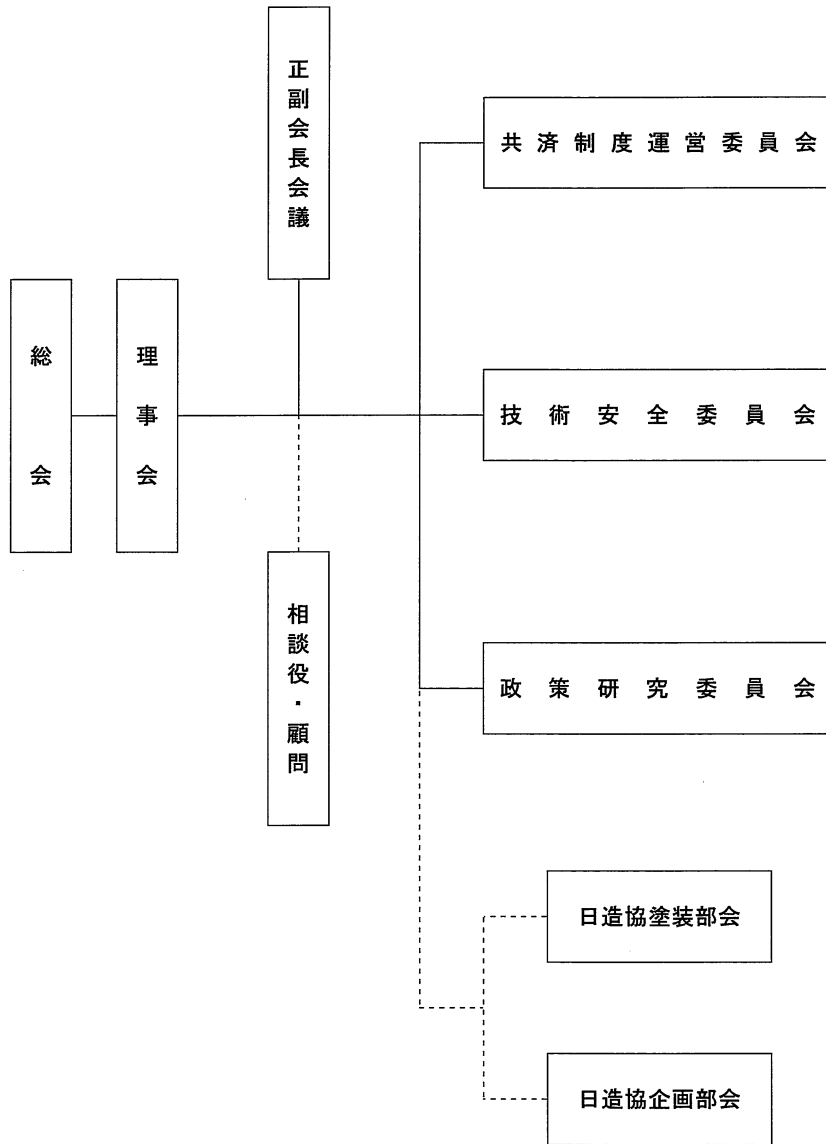
	氏名	役 職	企業名・役職
全国部会長	中 橋 政 彦	塗装部会長、四国支部塗装部会長	中橋産業(株) 代表取締役社長
支部部会長	指 原 寿 光	東日本支部塗装部会長	(株)双葉塗装 代表取締役
〃	山 本 智 久	中部支部塗装部会長	東石工業(株) 代表取締役
〃	大 井 淳	近畿支部塗装部会長	大井工業(株) 代表取締役社長
〃	岩 重 文 雄	中国支部塗装部会長	岩重塗装工業(株) 取締役会長
〃	山 外 正 人	九州支部塗装部会長	山外工業(株) 代表取締役社長

日造協企画部会会員名簿

(順不同・敬称略)(36名)

役職	氏名	所属会員名	企業名
部会長	齋藤 憲司	造船構外企業協議会	(株)寺岡
副部会長	脇田 啓吾	協同組合JMU呉協力会	(株)ウイング
幹事	人見 慶太郎	三菱横製構内事業協力会	(株)大幸
〃	河西 峻介	三菱横製構内事業協力会	三上船舶工業(株)
〃	猪狩 孝久	ジャパンマリンユナイテッド(株)津事業所協力会	(株)創和
〃	岩重 真司	内海造船事業協同組合	岩重塗装工業(株)
〃	北川 栄太	協同組合三菱長船協力会	崎永海運(株)
部会員	岩澤 秀名	ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会	吉田工業(有)
〃	竹原 洋行	ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会	大正産業(株)
〃	勝見 慎一	住友重機械造船協同組合	錦工業(株)
〃	山本 智久	ジャパンマリンユナイテッド(株)津事業所協力会	東石工業(株)
〃	鈴木 康裕	三井E&S玉野協力会	(株)玉組
〃	前田 和郎	三井E&S玉野協力会	大同塗装(株)
〃	板谷 勝次	協同組合JMU呉協力会	(株)ただに工業
〃	河合 修孝	協同組合JMU呉協力会	山陽興産(株)
〃	中村 和稔	協同組合JMU呉協力会	(株)ディークエイト
〃	田崎 耕佑	協同組合三菱広島協力会	(株)吉本コーテック
〃	岡本 哲博	因島鉄工業団地協同組合	(株)岡本製作所
〃	柏原 秀幸	因島鉄工業団地協同組合	新松浦産業(株)
〃	星野 裕介	川重坂出事業協同組合	(株)ホシノ
〃	岡田 太郎	福岡造船福岡協力会	(有)伸和塗装工業
〃	椿原 智幸	福岡造船福岡協力会	椿原工業(株)
〃	武田 雅治	協同組合三菱長船協力会	(株)そとわコーポレーション
〃	木下 康彦	福岡造船株式会社長崎協力会	(株)菱陽商事
〃	首藤 謙吾	福岡造船株式会社長崎協力会	TOKENプラント(株)
〃	西出 秀明	ジャパンマリンユナイテッド有明協力会	花谷建設(株)
〃	麻生 晃司	白杵造船事業協同組合	アルプス工業(株)
〃	太田 祐介	造船構外企業協議会	(株)日本冷熱
〃	吉川 勝也	造船構外企業協議会	葵工業(株)
〃	小鯖 利弘	造船構外企業協議会	(株)小鯖船舶工業
〃	是永 光政	造船構外企業協議会	(株)是永鐵工所
〃	谷垣 友彰	造船構外企業協議会	谷垣工業(株)
〃	西 寛	造船構外企業協議会	(株)平和和熔工所
〃	畑中 秀之	造船構外企業協議会	(株)第一技研
〃	山川 達矢	造船構外企業協議会	コスモ精機(株)
〃	山本 一郎	造船構外企業協議会	イワキテック(株)

日 造 協 機 構



事務局組織図

